

ULVAC

株式会社 アルバック

ULVAC, Inc.

会社案内

Corporate Profile

ULTIMATE IN VACUUM

真空の
極限を追求する

2025 - 2026

ULVAC

株式会社 アルバック

〒253-8543

神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地

TEL: 0467-89-2033

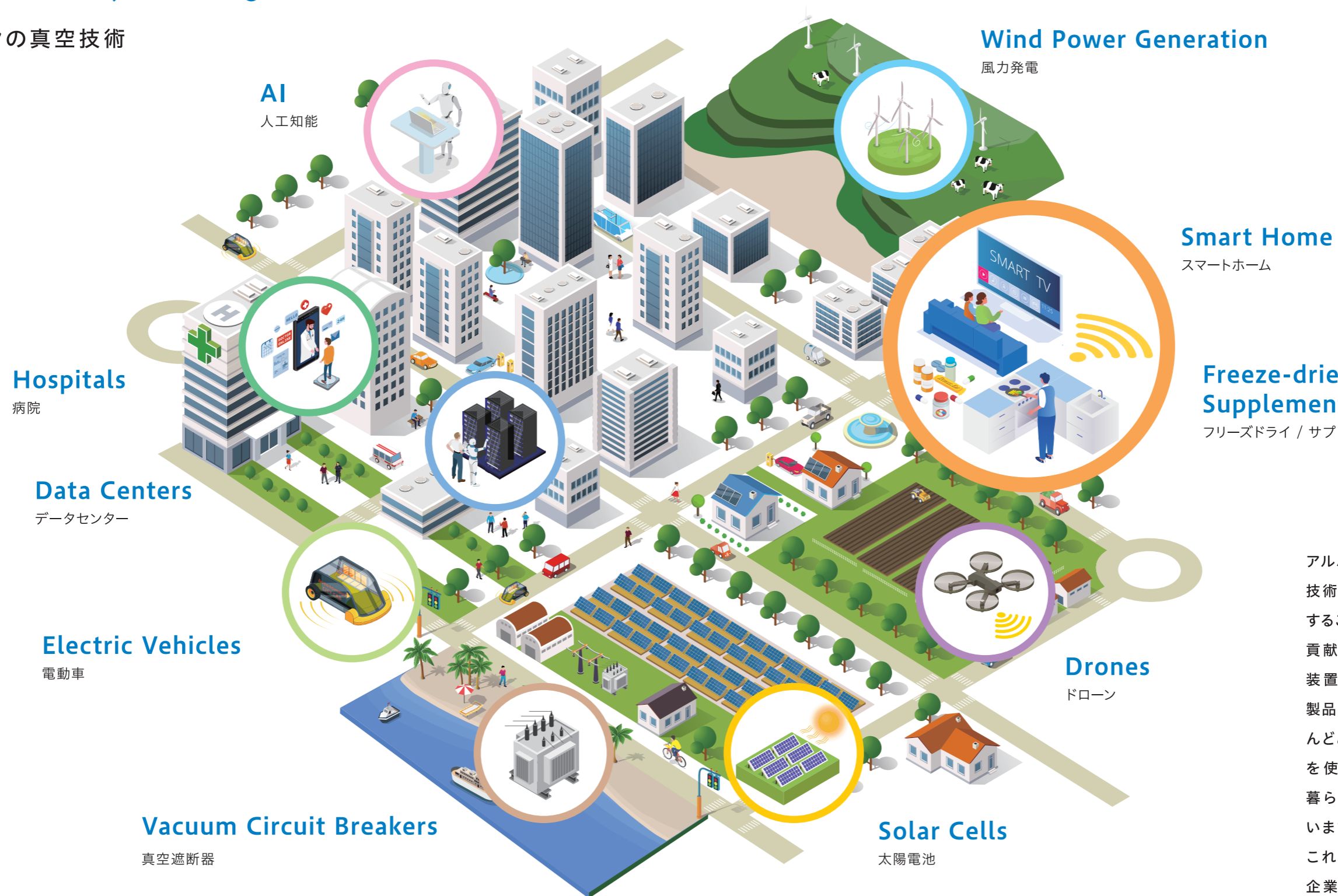
www.ulvac.co.jp

UD
FONT
by HIRAGINO

0114N2026070200DNP

ココニモ、アル。

アルバックの真空技術



アルバックの経営基本理念は「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」です。製造装置メーカーであるアルバックの製品を一般の方々が見る機会はほとんどありませんが、真空技術や装置を使って作られる製品は、人々の暮らしと密接なつながりを持っています。私たちは真空技術により、これからも社会から必要とされる企業であり続けます。

TOP MESSAGE

真空技術で、 産業と科学の未来を切り拓く

アルバックは、真空技術を核に、産業と科学の発展に貢献することを目指してきました。今、AIを前提とした社会が本格化し、その発展を支える半導体や電子デバイスの重要性は、ますます高まっています。アルバックは、半導体・電子機器事業を成長の中核に据え、社会にとって「なくてはならない存在」となるべく、挑戦を続けています。これは経営基本理念そのものの実行です。研究開発と事業をつなぎ、技術を価値に変え、成果へと結びつけてまいります。真空は、何もない空間ではありません。無限の可能性を秘めています。アルバックの現場には、先輩方が築き、社員一人ひとりが磨いてきた技術と知恵が積み重なっています。その力をつなぎ、技術を製品に育て、お客様のもとに届け切ることで、お客様や社会の挑戦に応えていきます。私は、アルバックを技術で道を切り拓く会社にしていきたいと考えています。経営と現場が志を一つにし、お客様をはじめとするステークホルダーの皆さまとともに、アルバックの次の一步を力強く踏み出してまいります。

社長執行役員

清田 淳也

BASIC CORPORATE PHILOSOPHY

アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す。

ULVAC

社名の由来

アルバック (ULVAC) とは「Ultimate in Vacuum」のULとVACを合わせた造語で、「真空の極限を追求する」という意味です。新たなステージへの飛躍を念頭に、真空技術を補完する新技術分野への取り組みを活発に行いながら、アルバックブランドをさらに進化させてまいります。



HISTORY

創業から70年以上、時代の産業構造の変化に応じて真空技術をコアとした新しい技術の創造に果敢に挑戦し、産業の復興や高度成長を支えてきました。市場の変化に伴い積極的にグローバル化を進め、海外売上比率は約7割となっています。「真空技術で産業と科学の発展に貢献したい」という創業当時の若い研究者たちの熱い思いはアルバックのDNAとして、今もなお、受け継がれているのです。

1952 | 日本真空技術株式会社設立
| 白光舎(現 市光工業(株))から
自動車部品のメッキ用
真空蒸着装置を初受注

1955 | 大森工場を開設、
国産装置の製造に着手



1959 | 横浜工場を開設

1960 | 真空溶解炉や真空蒸留装置など
重厚長大産業向け大型真空装置を
次々と開発

1964 | アルバック初の海外現地法人を
香港に設立

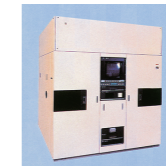
1968 | 神奈川県茅ヶ崎市に本社・工場完成

1972 | アルバック初の本格的な研究機関
として超材料研究所を開設

1975 | IBMより世界初全自動
真空蒸着装置「システム731」受注



1986 | 世界初のマルチチャンバ型
スパッタリング装置
「MCHシリーズ」が多くの
半導体メーカーから好評を博す



1988 | ハードディスク向け製造装置
「SHDシリーズ」が世界的にヒット

1990 | 半導体製造装置の専門工場として
富士裾野工場を開設

1992 | FPD事業の礎を築いたLCD用
枚葉式成膜装置「SMDシリーズ」を
リリース



1995 | 中国に真空ポンプの生産拠点、
韓国に販売・サービス拠点を設立

2001 | 半導体電子技術研究所を開設
| 社名を株式会社アルバック
(英文名 ULVAC, Inc.)に変更

2004 | 本社・工場(茅ヶ崎)新社屋完成



| 東京証券取引所市場第一部上場
| 中国蘇州に本格的な真空装置の
生産拠点を設立

2005 | 韓国に大型ディスプレイ
製造装置の大規模生産拠点を設立

2006 | 台湾に大型ディスプレイ
製造装置の生産子会社を設立

2007 | 材料の開発・製造を担う
千葉富里工場を開設
| 薄膜太陽電池一貫製造ラインを受注

2011 | 韓国に韓国超材料研究所を設立

2015 | 未来技術研究所を設立

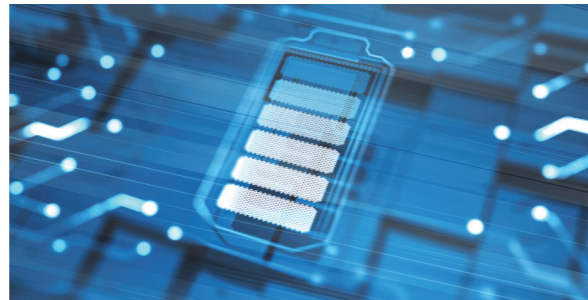
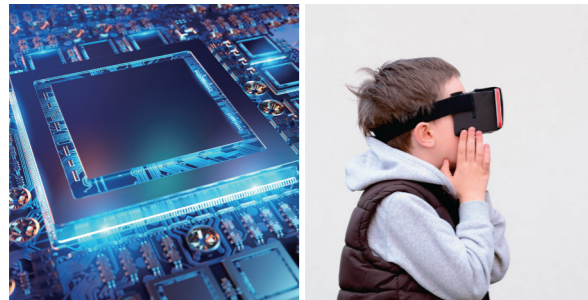
2016 | 愛発科真空技術(蘇州)有限公司で
大型ディスプレイ用装置の
製造を開始

2018 | 大阪大学内にアルバック未来技術
協働研究所を開設

2021 | 東京工業大学(現 東京科学大学)
内にアルバック先進技術協働研究
拠点を開設

2022 | 創立70周年を迎える

2024 | 韓国にTechnology Center
PYEONGTAEKを設立



半導体及び電子部品製造装置



あらゆるものがインターネットにつながるIoT、膨大なデータを分析し新たな価値を生むビッグデータ、高度・高速情報処理技術が作る生成AI、自動運転やEV化が加速的に進化する次世代自動車など、新たな社会・産業構造の実現が始まっています。これらの技術革新を支えるメモリ、ロジック、パワー半導体、アナログ半導体、MEMS、通信デバイス、オプトデバイスなど様々な用途、製品の開発、生産にご利用いただける装置をグローバルかつタイムリーに提供するため、研究開発と技術・生産革新を続けています。

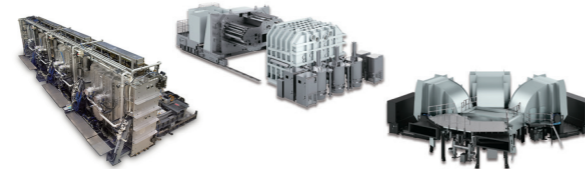


- 半導体（メモリ、ロジックなど）製造装置
- 電子部品（パワー半導体、MEMS、通信デバイス、オプトデバイスなど）製造装置
- 電子実装装置（WL-CSP、FoPLPなど）

ディスプレイ・エネルギー関連製造装置



真空及びその周辺技術を総合利用した先進的な製造ソリューションの提供を目指しています。社会課題を解決するために、EVバッテリー部材製造用の巻取式成膜装置や、スマートフォン・パソコン・タブレット・TVなどのディスプレイ製造用の成膜装置を提供しています。巻取式成膜装置で製造される部材は、バッテリーの軽量化、安全性向上、省資源化の実現に貢献します。また、ディスプレイ製造装置は、スマートフォンやタブレットなどの軽量化と省資源化の実現が期待されます。多様化する社会課題の解決に向けた装置の開発、製造、販売、サポートを一貫して行い、お客様のご要望にお応えします。

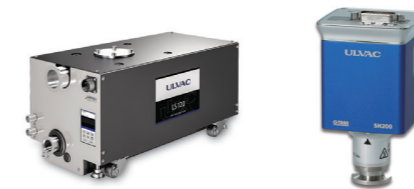


- 巻取式（蒸着、スパッタリング）装置
- 液晶ディスプレイ製造装置
- 有機ELディスプレイ製造装置

コンポーネント



私たちの生活は真空技術、低温技術を利用した製品に囲まれています。たとえば、スマートフォンや電子部品などの製品を作る過程で、真空技術、低温技術が不可欠です。アルバックは、真空をつくる「真空ポンプ」をはじめ、真空（圧力）を測定する「真空計」、真空中のガス種を測定する「プロセスガスモニタ」、真空を維持するために漏れを調べる「ヘリウムリークディテクタ」、また、各種成膜装置用電源、クライオポンプ、低温機器など、付加価値の高い製品を顧客満足のためにグローバルに提供しています。

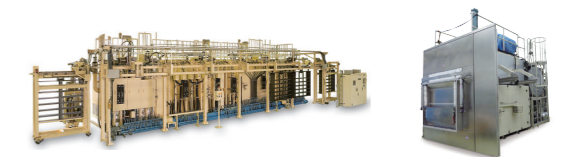


- 真空ポンプ
- 真空計
- ヘリウムリークディテクタ
- プロセスガスモニタ
- 成膜コントローラ
- 各種成膜用電源
- 真空バルブ
- 真空搬送ロボット
- クライオポンプ
- 低温機器

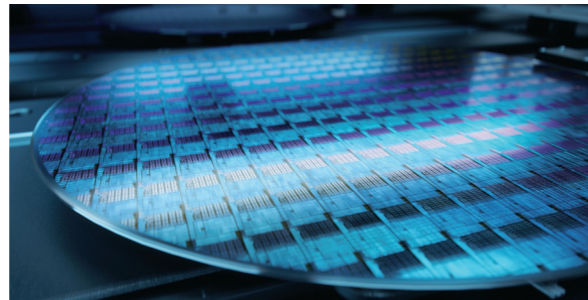
一般産業用装置



創業から金属業界、自動車業界、家電業界など、常に時代にフィットした装置や技術を提供し、様々な産業の発展に貢献してきました。現在では、これまで培った基盤技術を駆使して、EV駆動モータに使われる希土類磁石の真空溶解炉や真空焼結炉、タンタルコンデンサ製造用真空焼結炉、各種熱交換器製造用真空ろう付け炉、リークテスト装置などを手掛けています。また、ライフサイエンス分野においては、医薬品用凍結真空乾燥装置など、幅広い産業や分野に多彩なソリューションを提供しています。



- 真空熱処理炉
- 真空ろう付け炉
- 真空溶解炉
- 凍結真空乾燥装置
- 微噴凍結乾燥装置
- リークテスト装置



CORPORATE DATA

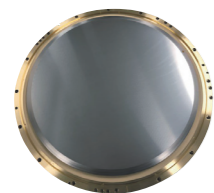
2025年6月30日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	208億7,304万2,500円
売上高	連結 2,511億8,400万円 (単体 988億5,100万円)
従業員数	連結 6,132名 (単体 1,648名)
事業内容	ディスプレイ・半導体・電子・電気・金属・機械・自動車・化学・食品・ 医薬品業界及び大学・研究所向け真空装置、周辺機器、真空コンポーネント、 材料の開発・製造・販売・カスタマーサポート及び諸機械の輸出入。 また、真空技術全般に関する研究指導・技術顧問。

材料



真空技術に関わる高品質、高性能な先端材料を提供しています。市場のニーズに対応した半導体や電子部品の成膜プロセスで使用される薄膜材料(主にスパッタリングターゲット)を開発、製造、販売しており、お客様の最先端デバイスの開発、生産に貢献しています。高機能材料分野では、電子部品、化学産業、医療産業、加速器などに使用される高融点活性金属材料(タンタル、ニオブなど)の開発と、通常扱いが難しいとされる高融点活性金属部品の溶解、加工、製造をお客様のご要望に合わせて行っています。



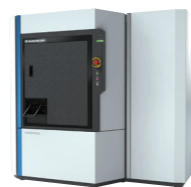
- スパッタリングターゲット材料
- 高融点活性金属材料及び部品製作

表面分析装置、マスクブランクス※ 他



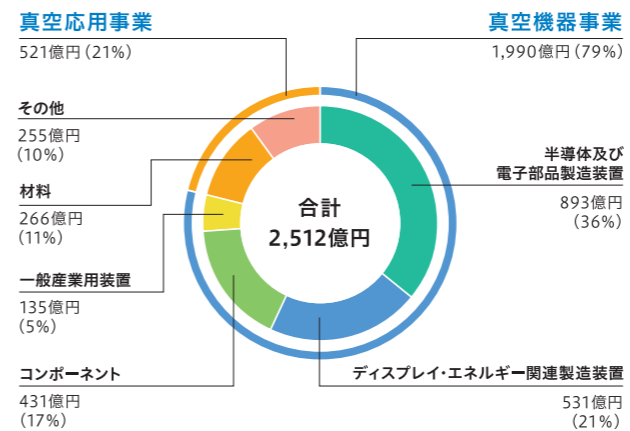
「目に見えないものをデータ・情報に変える」分析技術で、材料の表面や界面の微細構造・組成を高精度に解析し、研究開発や品質管理、故障解析を支援する表面分析装置を開発、製造、販売しています。XPS、AES、SIMSといった分析技術においては、世界トップクラスの性能と実績を有し、半導体、エレクトロニクス、エネルギーなど多様な産業分野のニーズにお応えします。また、半導体やFPD(フラットパネルディスプレイ)製造におけるリソグラフィ工程に不可欠なマスクブランクスを開発、製造、販売しています。

※ 半導体集積回路の製造において、回路を転写する原版のこと。

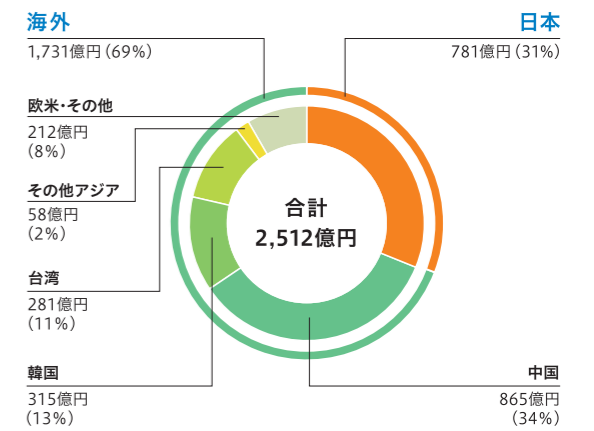


- 表面分析装置
- マスクブランクス 他

事業別売上高



地域別売上高



(注) 記載された金額は四捨五入しておりますので、各項目の合計値が一致しない場合があります。

ULVAC WORLDWIDE

日本国内はもとより、欧米・アジアを中心に、グループ会社と連携し、地域ごとに最適な販売、サービスネットワークを構築しています。研究開発から、製造、販売、カスタマーサポートまでを一貫して行う世界最大級の真空総合メーカーとして、これからも真空技術を通して世界の産業と科学の発展を支え続けます。

- (株)アルバック拠点
- 国内グループ会社拠点
- 営業・サービス拠点
- 研究開発拠点



Japan

- (株)アルバック
- アルバック成膜(株)
- アルバック機工(株)
- アルバック・ファイ(株)
- アルバック・クライオ(株)
- (株)昭和真空
- アルバックテクノ(株)
- アルバック販売(株)
- 日真制御(株)
- (株)ファインサーフェス技術

Global Network

Europe

- ULVAC GmbH

Asia

- 愛発科(中国)投資有限公司
- 愛発科商貿(上海)有限公司
- 愛発科真空設備(上海)有限公司
- 寧波愛発科真空技術有限公司
- 愛発科真空技術(蘇州)有限公司
- 愛発科(蘇州)技術研究開發有限公司
- 愛発科東方真空(成都)有限公司
- 愛発科東方檢測技術(成都)有限公司
- 寧波愛発科低温泵有限公司
- 愛発科自動化科技(上海)有限公司
- 愛発科真空技術(沈阳)有限公司
- 愛発科天馬電機(靖江)有限公司
- 愛発科成膜技術(合肥)有限公司
- 愛発科費恩斯(南京)儀器有限公司

- ULVAC SINGAPORE PTE LTD
- ULVAC (THAILAND) LTD.
- ULVAC SINGAPORE PTE LTD, India Branch

- ULVAC KOREA, Ltd.
- Pure Surface Technology, Ltd.
- ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED

- ULVAC TAIWAN INC.
- ULTRA CLEAN PRECISION TECHNOLOGIES CORP.
- ULVAC SOFTWARE CREATIVE TECHNOLOGY, CO.,LTD.
- ULVAC Materials Taiwan, Inc.
- ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.
- ULCOAT TAIWAN, Inc.

North America

- ULVAC Technologies, Inc.
- Physical Electronics USA, Inc.